

COUNTER 実務指針(Code of Practice)

リリース 1

付録 C

正誤表

バージョン 01 (2003 年 5 月)

次表の修正及び変更は 2003 年 1 月 14 日に公表された実務指針のリリース 1 以降になされたものである。

変更箇所	変更日付	原テキスト	新テキスト
2.8 検査と COUNTER 遵守 5~6 行目	19/03/03	「4 章の「第 1 レベル」として定められる諸定義を利用して、3 章で「第 1 レベル」として定義される利用レポート」	「3 章で定められている所定義を利用して、4 章で「第 1 レベル」として定義される利用レポート」
3.2 セッションデータ 3.2.1	19/03/03	Yyyy-mm-dd-mn-ss	Yyyy-mm-dd-hh-mn-ss
3.2 セッションデータ 3.2.2	19/03/03	Yyyy-mm-dd-mn-ss	Yyyy-mm-dd-hh-mn-ss
4.1 利用レポート：第 1 レベル 4.1.1	19/03/03	「4 つの利用レポートを以下に示す。」	「5 つの利用レポートを以下に示す。」

注

原テキストから除く部分は赤で示した。新テキストに挿入する部分は青で示した。

COUNTER 実務指針(Code of Practice)

リリース 1

付録 D

実装のためのガイドライン

バージョン 01 (2003 年 5 月)

はじめに

ここに示す実装のためのガイドラインは、ベンダー及び顧客が COUNTER の実務指針を理解し、実装するための助けとなることを意図としている。ガイドラインが扱う問題は、実務指針の[実際の]利用者及び将来の利用者から出された細かな質問の大半に答えられるように選ばれている。

実務指針への参照が容易になるようにガイドラインでは実務指針と全く同じ番号付けを使用している。必要に応じて実務指針の関連する本文を引用するようにした。

5 a: 「成功した有効な要求のみを数えるべきである。ウェブサーバのログファイルでは、成功した要求には特定のリターンコードが付加されている。リターンコードの標準は NCSA が規定し、維持管理している。」

実装の要件:

成功した要求あるいは有効な要求を示すリターンコードは、公認された国際ウェブ標準及びプロトコルで特定される。ハイパーテキストのプロトコルを規定する関連ドキュメントは RFC2068 であり、これは各リターンコード番号の定義を含んでいる。リターンコード番号には 5 つのカテゴリがある。

1xx (情報): このカテゴリはリクエストに関する情報を提供する。それはしばしば実験的なアプリケーションに遭遇した利用者を示す。

2xx (成功): 成功したレスポンス用に割り当てられる。このコードのカテゴリは普通利用者に見えないが、ブラウザが受け取り、ブラウザから送られたリクエストが受信され、理解され、受入られたかどうか分かる。

3xx (リダイレクション): 利用者のブラウザが更に動作する必要があることを示す。ブラウザが自動処理した場合、利用者の応答は不要となる。

4xx (クライアントエラー): このコードのカテゴリーは、利用者が最も頻繁に見るものであり、エラーを示す。

5xx (サーバエラー): サーバがエラーの発生を知っているか、又はサーバが要求に答えられないことを示す。

カテゴリー 2xx 及び 3xx は COUNTER の実務指針の 5 章 a と関連している。実務指針では次のリターンコードのみを成功した要求あるいは有効な要求であるとみなしている。

200 (OK) 要求が成功し、情報が返ってきた。これはウェブ上でごく普通のリターンコードである。

304 (Not modified) ネットワークの回線容量を節約するためにブラウザがリソースに対する条件付き要求を行うことがある。条件付き要求は「If Modified-Since」フィールドを含み、サーバが単に 304 コードを返した日付以降にリソースが改変されていない場合は、ブラウザはリソースのキャッシュコピーを使用する。

上記以外の 2xx 及び 3xx のカテゴリーのリターンコードが返ってきたいかなる要求もカウントしてはならない。これには次のものを含む。

206 (Partial content) サーバが特定のタイプの要求の一部分しか満たせなかったことを示す。

301 (Moved permanently) アドレスを指定したリソースが移動し、それで将来に渡るそのリソースへの全ての要求は新しい URL に対して行われるべきである。新しいロケーションへの移行は自動で行われるか又は利用者の手動の介入が必要になる。

302 (Moved temporarily) これは要求したページが同じ URL にあるにも関わらずコンテンツが移動したことを示す。そのページは従って検索されないのでカウントしてはならない。

303 (See other) ブラウザの要求に対するレスポンスが他で見つかるものである。新しいロケーションへの自動的なリダイレクションが発生する。

http リターンコードの 5 つのカテゴリー及びそれらの定義についての詳細情報は以下を参照: <http://www.w3.org/Protocols/rfc2068/rfc2068>* の第 10 章 [p.53-64]

また、もう少し要約した情報は以下を参照:

http://www.cknow.com/ckinf/def_h/httpreturncodes.shtml.

*日本語訳は <http://www.mars.dti.ne.jp/~torao/rfc/rfc2068-ja.html> 等にある。